義援金をいただきました

問　企画財政課　復興推進係　☎２８２－１２６３

　このたびの熊本地震における全国の多くの方々から心温まるご支援に感謝します。義援金は、個人や企業、県などから、累計14億7,438万6,440円の善意をいただいています。

　このうち、町に対して、12月１日から12月28日までに義援金をいただいた方々は次のとおりです。誠にありがとうございます（敬称略、順不同）。

○本田　安洋
○岡本　孝二
○黒田　由美子
○近藤　忍
○居酒屋　御船
○中西　清美
○ミキタカツグ
○ダイレックス株式会社
○フジイ　エミコ
○シユウ　コウヤサンシゴ
○ワジマシチホウソウセイス
○東田　智子

◉義援金累計　　14億7,438万6,440円（12月28日現在）

　義援金の内訳は、町への義援金が5,978万6,440円、県から町への配分金が14億1,460万円となっています。県から町への配分金は、県の配分委員会で決定した基準に基づき支給されますので、被害状況により金額が異なります。

　現在、町では、県の配分基準に沿い、被害住家に居住していた世帯で、申請手続きが完了した人を対象に、義援金の配分を行っています。今後、町への義援金の配分については、町の配分委員会で決定し、配分を行う予定です。

寄付金（見舞金）をいただきました

問　総務課　管理係　☎２８２－１１１１

　熊本地震発生後、個人や企業などからご支援をいただきました。町に対して12月１日から12月28日までに寄付金（見舞金）をいただいた方々は次のとおりです。誠にありがとうございます。（敬称略、順不同）

○中野好春
○筬島春美
○㈲ナイスゴルフセンター
○西邦電気工事㈱
○下関海響マラソン2016・下関海響マラソン実行委員会
○七緑会一同
○㈱鶴屋百貨店（100％熊本百貨店）

◉累計　5,159万7,445円（12月28日現在）

ふるさと納税「お礼の品」協力事業者募集説明会を開催します

問　企画財政課　行革推進係　☎２８２－１２６３

　御船町ふるさと納税にご協力いただいた方々に送る「お礼の品」を、町内事業者を対象に募集します。

　それに伴い、ふるさと納税「お礼の品」の発送の流れや業務内容等の説明会を次のとおり実施します。

　御船町のＰＲ、商品のＰＲの両方の側面から、各事業者の商品が全国各地へ発送できる良い機会になると思いますので、是非説明会にお越しいただきますようお願いします。

　なお、出席される場合は、予め企画財政課行革推進係まで、電話でご連絡をお願いします。

■日　　程　２月８日㈬
■時　　間　18時～19時30分
■会　　場　役場分庁舎２階大会議室
■対象事業者　町内に所在し、町内で製造・加工等を行っている事業者

復興基金による被災宅地復旧支援事業

問　農業振興課　地籍調査係　☎２８２－１６１７

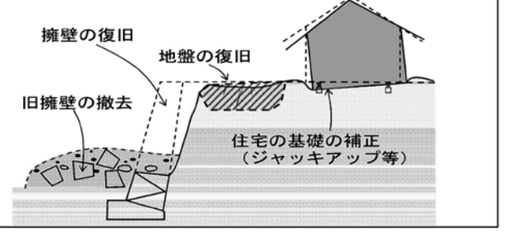
　熊本地震の特質である宅地被害において、早期の宅地復旧と被災者の負担軽減を図り、個人住宅の再建築による生活再建を支援するため、国庫補助制度に該当しない被災者が行う復旧工事に対する費用の一部を支援する。

※現時点では、詳しいことは分かっておりません。概要のみのお知らせとなります。詳細が分かり次第、お知らせします。

●支援内容
　補助額：工事費から50万円を控除した額に３分の２を乗じた額（対象工事費1,000万円まで）

●対象工事（別図のとおり）
・擁壁の復旧工事
・宅地内の亀裂・陥没等の地盤復旧工事費
・住宅の基礎の補正工事費（ジャッキアップ）など

別図
復興基金による被災宅地復旧支援事業イメージ



個人で人間ドックを受診した国民健康保険加入者に助成

問　健康づくり支援課　健康推進係　☎２８２－１６０２

　役場申込の人間ドックを受診せず、個別に人間ドックを受診した人へ3,000円を助成します。対象は、20歳以上の国民健康保険加入者で、要件を満たす人です。

■申請窓口
　役場健康づくり支援課窓口（保健センター）

■申請方法
　❶～❹を準備し、保健センターへ申請してください。
　❶健診結果票、❷国民健康保険被保険者証、❸印鑑
　❹振込用通帳（申請者本人）

■助成額　3,000円

■対象者　❶～❸すべてに該当する人。
　❶人間ドックの受診時に国民健康保険に加入している人
　❷今年度20歳以上になる人で、町を介さず個人で特定健診検査項目がすべて含まれている人間ドックを受診した人
　❸人間ドックの検査結果を、特定健診および特定保健指導に利用し、特定保健指導の対象者となった場合に保健指導を受けることが可能な人

■申込期限　3月31日㈮

給食センター進捗状況報告

問　学校教育課　学校教育係　☎２８２－１７００

　御船町学校給食センター新築工事の進捗状況について、９月広報では安全祈願祭についてお知らせしましたが、11月末時点で、鉄骨建方が終了し、外形が整ってきており、平成29年４月からの稼働に向けて着々と建築が進んでいるところです。約1500食の調理が可能で、非常用発電機を設置し、災害時にも対応できます。現場では毎朝ラジオ体操を行い、毎週土曜日には周辺の清掃をするなど、健康面や周辺環境にも配慮しながら工事を進めています。同センターは、３月中旬に完成予定となっています。

4月からの稼働に向けて、着々と進んでいる建設工事